

## 教育・保育に係る量の見込み及びその提供体制の確保方策（R4実績）

（単位：人）

	1号認定（2号認定以外の3～5歳児）			2号認定（保育認定を受けた3～5歳児）							1号+2号 (③+⑥)
	量の見込み (需要量) ①	確保方策 (供給量) ②	③ (②-①)	量の見込み(需要量)			確保方策(供給量)			⑤ (⑤-④)	
				④(A+B)	教育ニーズ A	保育ニーズ B	⑤(C+D)	教育保育施設 C	企業主導型保育 施設の地域枠 D		
計画値	5,280	7,962	2,682	20,200	2,123	18,077	21,667	21,591	76	1,467	4,149
実績値	-	9,198	3,918	-	-	-	18,678	18,486	192	▲ 1,522	2,396
差(実績-計画)	-	1,236	-	-	-	-	▲ 2,989	▲ 3,105	116	-	▲ 1,753

	3号認定（0歳児）				3号認定（1・2歳児）						需要量 (総数) I ①+④+⑦+⑩	供給量 (総数) II ②+⑤+⑧+⑪	II-I ③+⑥+⑨+⑫
	量の見込み (需要量) ⑦	確保方策(供給量)			⑨ (⑧-⑦)	量の見込み (需要量) ⑩	確保方策(供給量)			⑫ (⑪-⑩)			
		⑧(E+F)	教育保育施設 E	企業主導型保育 施設の地域枠 F			⑪(G+H)	教育保育施設 G	企業主導型保育 施設の地域枠 H				
計画値	3,184	3,976	3,944	32	792	12,123	12,714	12,640	74	591	40,787	46,319	5,532
実績値	-	3,816	3,641	175	632	-	12,362	11,975	387	239	-	44,054	3,267
差(実績-計画)	-	▲ 160	▲ 303	143	-	-	▲ 352	▲ 665	313	-	-	▲ 2,265	-

○量の見込み(需要量)は、令和元年時点の教育・保育施設の利用状況に、今後利用したいという潜在的な利用希望を加えたものである。

○確保方策(供給量)は、令和元年時点で、各市町村の利用定員数を積み上げたものであり、1号認定(教育認定を受けた3～5歳児)は計画を上回る利用定員となっている。

○今後とも、施設整備(ハード面)、保育士等の確保(ソフト面)及び利用定員調整(ソフト面)等により、適切な需給調整となるよう市町村と協議してまいりたい。

【参考】各施設利用児童数 1号+2号：25,356人、3号：17,298人 計42,654人